

育心拓夢

愛媛県総合教育センター所報 No.173
(令和7年6月9日発行)
[https:// center.esnet.ed.jp /](https://center.esnet.ed.jp/)
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地
TEL 089-963-3111(代) FAX 089-963-3146

○所長挨拶	…… 1	○調査・研究発表会のお知らせ	…… 3
○総合教育センターの紹介	…… 1	○えひめ教師塾について	…… 3
○研修事業の紹介	…… 2	○センターホームページ利用の案内	…… 3
○学校支援事業について	…… 2	○教育相談事業について	…… 4



「学び続ける教師とは」

所長 渡邊 弘安

1998年6月発行の本センター所報の巻頭言に次のような一節がありました。「教師は子供を変えたがるが、自らを変えることは忘れがちである。教師が自己の不完全さを自覚し、自己変革しなければ子供は変わらない。この目標は、教育の基本であり、当たりまえのことである。「木を見て森を見ず」というが、この当たりまえの目標こそが「教育の森」である。近くから見るか、遠くから見るかの違いはあっても、絶対に見失ってはならない。(加地義夫所長)」

令和4年12月に出された中央教育審議会答申において、「令和の日本型学校教育」を担う「新たな教師の学びの姿」が示されました。教師は、変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続け、子ども一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たし、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力を備えること等が求められています。また、学び続ける教師の姿は子どもたちにとって重要なロールモデルである

とされ、教師も生徒と同様に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両輪に、主体的・対話的で深い学びを進めることが求められています。

私たち教師は、日々の教育活動や子どもたちから学び続けています。その学びをまた、教育活動に生かしていく。そして、その教育活動によって子どもたちが成長する。また、子どもの成長を通して教師自身も成長していく。その積み重ねの中に喜びややりがいを感じながら、教師は学び続けていく。このような教育の在り方は、これからの時代に限ったことではなく、いつの時代にも通じる普遍的なものであり、それが教育の理想的な循環なのではないかと思っています。

本年度、本センターで取り組む研究の一つに、「新たな教師の学びの姿」を実現する校内研修の在り方」と題した研究題目を設定しました。これは、令和6年度全国学力・学習状況調査結果を受けたもので、教師一人一人のニーズに応じた学びの場（個別最適な学び）や、多様な他者との対話を通じた学びの場（協働的な学び）を設定した校内研修の在り方を追究するものです。

本センターは、今後も「学び続ける子ども」そして「学び続ける教師」を支援してまいります。

総合教育センターの紹介

「愛顔(えがお)あふれる『教育立県えひめ』の実現」に向け、本センターは、教職員の資質・能力の向上と子どもたちの生きる力を育む学校づくりのため、大学や関係機関と連携しながら、研修・研究・教育相談・学校支援の四つの事業を柱として、学校教育を総合的に支援しています。



<令和6年度専門研修>

研修事業では、先生方が新たな教育課題にしっかりと対応できるよう、講座内容を工夫しています。

研究事業では、「未来を切り拓く力を育む学校教育

への総合的な支援」を研究主題として、研修プランの開発や、特別支援教育の視点に立った校内研修支援体制づくりなど、五つの研究を進めています。

教育相談事業では、子育てについての相談や支援の必要な子ども、不登校、いじめ、若手教員支援に関する教育相談を行っています。

学校支援事業では、出前講座や放課後ミニ研修等、先生方の研修機会の拡大や多様な働き方を意識した新たな研修を企画しています。



<令和6年度出前講座>

研修事業の紹介

本年度からPlantの運用が始まり、研修履歴を活用した管理職との積極的な対話によって、教師自身が主体的に学びをマネジメントしていくことが求められます。この「新たな教師の学びの姿」の実現に向け、本センターでは、様々な校種やニーズに対応した講座を多数用意し、参加した皆さんが主体的・対話的に学び、共に創り上げる研修を目指していきます。

特に、特定の分野や喫緊の教育課題に関する内容を取り入れた専門研修と課題別研修は、合わせて84の講座を予定しています。



<令和6年度ミドルリーダー研修>

また、多様な働き方を支援する観点から、ライブ配信や、オンデマンド動画の視聴と参集型を組み合わせた講座も用意しています。

なお、各講座への申込みは、先生方各自でPlantを使って行います。講座によって申込期限が異なりますので、期日までに申し込んでください。

詳細については、「研修のしおり」や「Plant利用ガイド」を御覧ください。本センターホームページからダウンロードすることができます。

本センターは、本年度も、教員研修の一層の充実に努めていきます。



学校支援事業について

出前講座

出前講座は、学校や教科等研究委員会等の要請に応じて、本センター所員が訪問し、校内研修や教科等研究委員会、市町教育委員会が主催する研修会の支援を行うものです。教科指導の方法、ICT活用、教育相談、特別支援教育など、喫緊の課題に対応するための講座を幅広く開設しています。オンラインや動画配信に対応している講座もあり、学校現場のニーズに合わせて利用していただけます。本年度は、幼児教育の質向上に資する講座として「幼児期の運動遊び」を新設し、昨年度まで実施していた「EILS（エイリス）の活用」にPBTの内容を追加しました。ほかにも、学校等のニーズに応じた講座を多数予定しています。講座の詳細は、ホームページに掲載している「研修のしおり」を御覧ください。



<令和6年度出前講座>

教科研修会や校内研修等の充実にためにも御活用ください。お問合せは、企画開発室まで。

TEL 089-909-7420

放課後ミニ研修

教員の研修及び交流の機会確保を目指し、放課後の短い時間に行うリアルタイム・オンライン研修です。通常の講座では扱わないようなコアなテーマや、Q&Aといった多彩な講座を予定しています。実施時間も幅広く設定し、多様な働き方に対応します。肩の力を抜いて気軽に参加してみませんか。申込み締切は、各講座1週間前です。ホームページに掲載する開催要項の二次元コードから、申し込んでください。同じ疑問や悩みを持つ先生方と語り合う充実した時間を共有したい、そんな先生方のたくさんの参加をお待ちしています。

<主な講座>

- ちょっと聞きたい♪特別支援教育
- 道徳Q&A-夜の部-
- すぐやるよ～働きやすい職場づくり～
- 著作権Q&A
- 不登校児童生徒支援のツボ
- 掃除×教育=? 掃除を通して育てる力と学び
- 子どもまんなかで話そう! 架け橋プログラム

- ・ウェブ会議システム Webex を使用します。
- ・原則、一人一台の端末から参加してください。

若手教員支援

若手教員の皆さん、一人で悩まず、サポートを活用しませんか。近年、教職経験の少ない先生方（若手教員）が増え、多忙な毎日の中で様々な壁にぶつかることもあるかと思えます。そこで、先生方が少しでも前向きに、安心して充実した教員生活を送れるよう、経験5年目までの先生方を対象に、教職支援室員が学校へ伺い支援します。授業参観を通して具体的なアドバイスをしたり、個別面談で学習指導、生徒指導、コ

ミュニケーション等の悩みや不安に丁寧に寄り添い、一緒に考えたりします。もちろん、秘密は厳守しますので御安心ください。資料提供や専門部署との連携も可能です。まずは校長先生を通じてお気軽に御相談ください。訪問に際し、指導案などの資料準備は不要ですので、先生の負担になりません。一人で抱え込まず、これらの支援をぜひ御活用ください。

調査・研究発表会のお知らせ

本センターにおける調査・研究の成果を広く公開し、本県学校教育の振興と充実を図ることを目的とした発表会です。



本年度の発表会は、次のとおり計画しています。

- 1 期 日 令和8年2月10日(火)
- 2 研究主題
「未来を切り拓く力を育む学校教育への総合的な支援」
- 3 センター各室による研究発表

4 講演



講師 阿部 利彦 先生

星槎大学大学院教育実践研究科 教授
専門分野：特別支援教育、教育相談、
学校カウンセリング

「教育・授業のUD」をキーワードに、誰もが安心して学べる場づくりについて、御講演いただきます。

なお、内容の詳細や参加申込みにつきましては、各学校に送付する案内及び本センターホームページで、12月上旬にお知らせする予定です。

えひめ教師塾について

えひめ教師塾は、教員志望の学生や在職10年目までの教職員等を対象に、4月～6月の休日を利用して行っている研修講座です。研修の目的は、講義や協議を通じて今の教育課題を様々な角度から捉え、教師としての情熱と使命感、実践的指導力の向上を図ることです。昨年度の受講者からは、「理論に加え、具体的な手法を学ぶことができ、現場での不安が軽くなった」「グループ協議で同じ志を持つ友人ができて、教師になりたい気持ちが更に強くなった」などの感想を頂きました。

本年度は、Plantを利用して講座ごとに申込みが出来ます。講座の詳細等は、各学校に送付した資料又は本センターのホームページを御覧ください。

【講座の内容】

- 不登校のキャリアリスクを抑制するつながりの力とは？
- 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援
- これだけはおさえたい教育相談のポイント
- 若者のライフデザインと男女共同参画社会～ジェンダーの視点を踏まえた愛媛方式の授業の実践～

などの講座を実施予定

センターホームページ利用の案内

本センターのホームページでは、学校の教育活動支援や子どもに関する相談・支援、研修、各種事業に関する情報の提供を行っています。

研究情報のページでは、本センターの機能を生かして学校教育を総合的に支援するための取組をまとめた研究紀要や成果物を掲載しています。

また、教員研修の支援として、ICT活用スキルに関する動画や各種指導資料を用意しています。校内研修や自己研修等でぜひ、御活用ください。



ホームページURL <https://center.esnet.ed.jp/>

教育相談事業について

本センターでは、子どもとその保護者及び教職員を対象に、子どもの発達や教育に関する相談・支援を行っています。相談に関する秘密は、固く守ります。お気軽に御相談ください。

受付時間：月～金曜日 8:30～12:00 13:00～17:15（土日・祝祭日は除く）相談は無料

教育相談	幼児の教育相談	特別な教育的ニーズのある子どもの相談
不登校・いじめなど	幼児の発達や子育て	障がい特性に応じた指導や支援
089-963-3986 直通電話	089-963-3113 内線118	089-963-3113 内線207、208、209のいずれか

不登校児童生徒支援

愛媛県教育支援センターでは、不登校児童生徒に対する支援を総合的に推進し、不登校の解消及び未然防止に向けた支援の充実を図っています。

1 メタサポキャンパス（メタバースを活用した支援）

○日時：毎週月～金 9:00～16:00

○内容：学習活動、交流活動、自己選択型の活動、教育相談

2 こまどりキャンパス（通所による支援）

○日時：毎週月～金 9:30～15:00

○内容：学習活動、スポーツ活動、交流活動、選択活動（進路探究活動、文化・芸術活動等）



<こまどりキャンパス>



<メタサポキャンパス>

3 保護者学級（年6回）

学校に登校しづらい児童生徒の保護者を対象に保護者学級を開催し、社会的自立に向けての支援の在り方について考える機会を提供します。

4 アウトリーチ型支援

市町(学校組合)教育委員会開催の研修会や学校、関係機関等を訪問し、誰一人取り残されない不登校児童生徒への支援、多様な教育機会への理解、不登校の解消に向けた効果的な取組等、不登校施策の充実に向けて、アウトリーチ型支援を行います。

5 魅力ある学校づくり研修会

教職員と関係機関が協議等を行い、不登校の未然防止及び関係機関と連携した支援の充実を図ります。

○東予：令和7年8月22日(金) 総合科学博物館

○南予：令和7年8月27日(水) 歴史文化博物館

○中予：令和7年8月28日(木) 生涯学習センター

特別な教育的ニーズのある子どものための支援事業（発達支援事業）

本事業では、小・中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒（診断等は不要）、保護者、関係教職員を対象に、学校や家庭における生活が、より望ましく生き生きとしたものになるよう支援を行っています。

親子教室（本センターで年間7回）

親子での活動や個別相談、先輩保護者等による講話



地域別親子教室（県内5会場で各1回）

親子での活動、保護者の情報交換会、教職員の個別相談



所報「育心拓夢（いくしんたくむ）」について

この言葉は本センターが現在の地に移転した昭和57年頃、当時の所員が作った言葉で、敷地内にある石碑に刻まれています。「総合教育センターでは、子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな「心を育む」こと、また、自らの力で未来への「夢を拓く」ことができるように学校支援を行う」という強い思いが込められています。